

# 「貿易手続デジタル化に向けた アクションプラン」進捗報告

---

2025年2月26日  
国土交通省 港湾局

## 2. 港湾手続のデジタル化推進【国交省】-コンテナ貨物搬入票のデジタル化

- コンテナ貨物搬入票のデジタル化に向けて、トライアル等の取組を実施。
- 2025年2月17～21日に実施したトライアルでは、東京・横浜の3ターミナルで計111件の搬入を対象に、サイバーポート上での搬入票の作成とCONPASを介したターミナルへの照合を検証した。今後は、必要な機能改善を行い、関係者の輪を広げつつ常時運用の開始や他ターミナルへの展開等を順次進める。

### 2023年10月トライアル

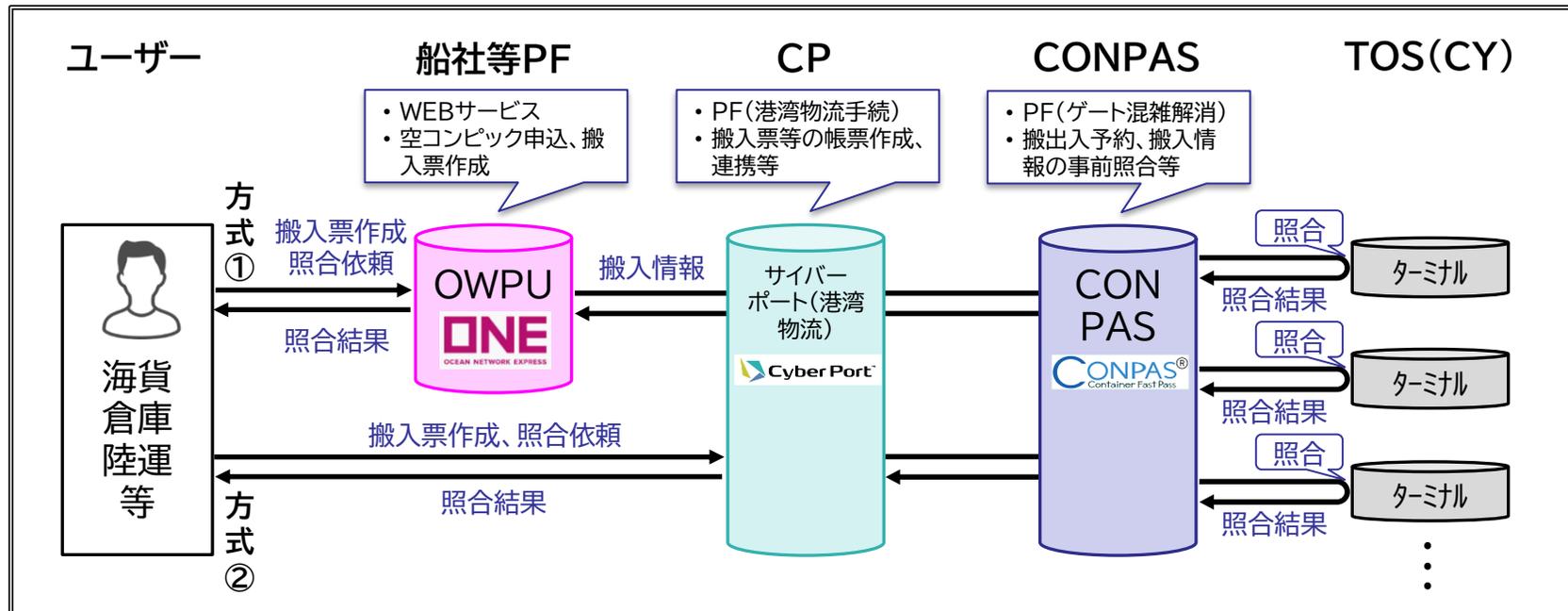
- ✓ 方式①:OWPU入口
- ✓ CY:横浜港南本牧
- ✓ 倉庫現場でのPCによる情報入力に課題

OWPU,CPそれぞれで機能改善を実施(モバイル対応等)

### 2025年2月トライアル

- ✓ 方式②:CP入口
- ✓ CY:東京港大井2号、大井4号、横浜港南本牧
- ✓ 計111件の搬入票作成・照合を実施

常時運用の開始、他ターミナルへの展開等を順次進める



## 2. 港湾手続のデジタル化推進【国交省】－危険物・有害物事前連絡表のデジタル化 国土交通省

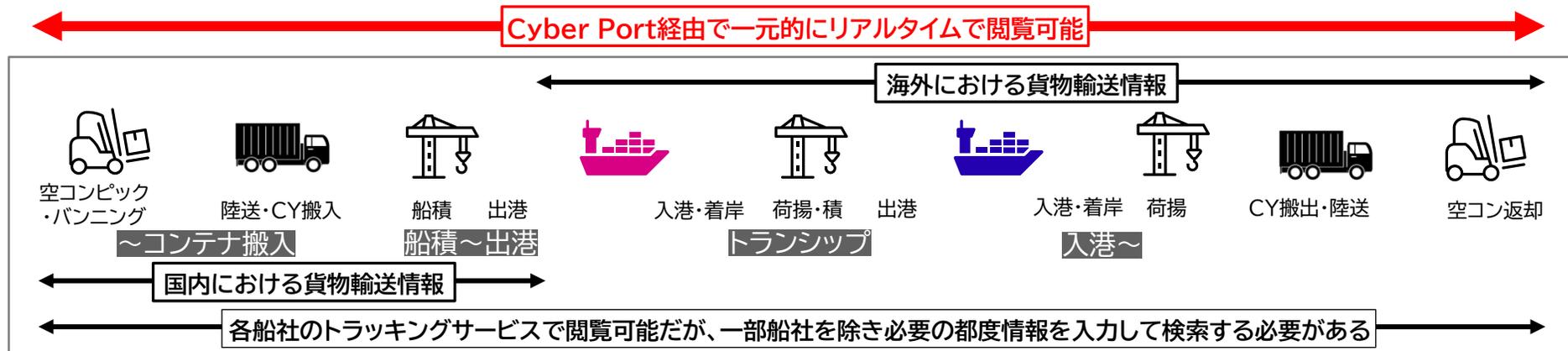
○ 依然として紙・メールでのやりとりがされている危険品関連書類(危険物明細書、危険物・有害物事前連絡表)について、サイバーポートを用いて、帳票の作成や関係者への連絡等をデジタル化し、危険品関連の業務の効率化を実現する。

- 【対象帳票】** 危険物明細書(赤紙)、危険物・有害物事前連絡表(白紙)、関連書類(DGリスト等)
- 【関係者】** 荷主、海貨、倉庫、ターミナル、船社、港湾貨物運送事業労働災害防止協会(港湾労災防止協会)
- 【導入効果】** [荷主・海貨・倉庫等] 赤紙・白紙の作成・提出の効率化等  
[港湾労災防止協会] 白紙の受領・確認の効率化等  
[ターミナル] DGリスト作成の効率化等
- 【進め方】** 現場での業務に即した電子化を実現できるよう、横浜、名古屋、大阪の3支部(港湾)を対象に、業務ヒアリングを行った上で機能を構築し、トライアルにて検証する。

年度	2024d												2025d				2026d			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~9	10~3		
関係者調整 (協会等)				追加確認 事項の集 約・回答 の展開	トライア ルを実施 する支部 の特定												機能リリース 順次、全国に展開			
業務ヒア						トライアル実 施支部の業務 ヒア	トライアル実施支部にお ける関係事業者の業務 ヒア													
機能構築									要件定義、設計			構築、テスト				(要すれば) 改善				
トライアル												トライアル 内容調整、 事前設定、 操作説明	トライアル							

## 2. 港湾手続のデジタル化推進【国交省】－海外貨物輸送情報の可視化

- コロナ禍以降、コンテナ貨物輸送状況の可視化やコンテナ貨物到着遅延リスクの予見性を求める声が主に荷主や海貨で高まっています。
- 各船社のホームページ等で輸出入コンテナ貨物の状況を把握することは可能ですが、利用者は船社によって異なるホームページ等にアクセスした上で検索に必要な情報をその都度入力する必要がありました。
- この状況を踏まえ、日本を発着する輸出入コンテナ貨物の輸送状況を一元的にリアルタイムで把握することを目的として、船社トラッキングサービスで提供されている輸出入コンテナ貨物情報をCyber Port経由で閲覧可能となるトラッキング機能を2025年1月15日(水)にリリースしました。



方式	変更内容	対象船社	対象船社コード
方式① 船社システム 連携方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイバーポートの取引ダッシュボードに、該当する貨物の輸送状況を照会する画面を追加しました。</li> <li>輸送状況のデータは船社等のシステムと連携して取得しており、サイバーポートの画面で最新の輸送状況を照会することが可能となります。</li> </ul>	オーシャン ネット ワーク エクス プレス(ONE)	ONEY
方式② 船社サイト遷移 方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイバーポートの取引ダッシュボードに、該当する船社のトラッキング照会ページへのリンクを追加しました。</li> <li>リンクをクリックした際、リンク先のトラッキング照会画面で検索条件となる情報(ブッキング番号など)がクリップボードにコピーされるので、貼り付けて検索を実行すれば当該取引に係るトラッキング情報が照会されます。</li> </ul>	MSC	MSCU MEDU

対象船社は、順次拡大予定



○ 物流事業者との意見交換会における主な意見・要望は、以下のとおり。

## (1) 荷主に対する意見・要望

- ✓ 貿易プラットフォームの導入、構造化データでの連携
- ✓ 各社内の運用方法の統一化（部門ごとに書類・情報の授受方法が異なる等）

## (2) 貿易プラットフォーム提供事業者に対する意見・要望

- ✓ 既存システムや他の貿易プラットフォームとの互換性確保
- ✓ その他貿易プラットフォームの導入に係る課題の改善（ユーザーフレンドリーなUI、セキュリティ確保、導入コストや運用コストの削減等）

## (3) 政府に対する意見・要望

- ✓ 貿易関連文書のデジタル化に係る法整備（電子船荷証券等）
- ✓ デジタル化未対応の貿易文書・手続のデジタル化（コンテナ貨物搬入票、危険物又は有害物事前連絡表等）
- ✓ 手続の標準化（原産地証明書申請等）
- ✓ 国際標準等に準拠した貿易データ連携（UN/EDIFACT、NACCSのコード体系等）
- ✓ 物流情報の開示（B/L、A/N、Booking Confirmation等）
- ✓ 貿易DXを推進する企業に対するインセンティブの提供（補助金等）
- ✓ 貿易プラットフォームの導入に向けた支援（ガイドライン、事例集、セミナー開催等）
- ✓ デジタル人材の育成に係る支援